様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 9 月 28 日
２次評価日（部長等）	29 年 9 月 29 日

１ 施策の概要

施策名	健康づくりの推進				コード	4-1
この施策の主な内容（細施策）	（1）市民が主役・市民参加の健康づくりの推進　（2）一次予防の重視　（3）健康づくりを支援する体制の強化					
第４次総合計画におけるこの施策の目的	「第２次岡谷市健康増進計画」に基づき、健康寿命の延伸を目指し、地域や関係機関と連携し、市民、関係機関、行政が一体となった健康づくりの推進を図る。					
担当部課	部	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	中村良則

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合（男性）	%	40.1	40.9	36.0	41.3	87.2%	36.0	31.0
	指標説明	４０歳から７５歳未満の国民健康保険加入者の内、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合							
②	メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合（女性）	%	12.7	12.1	10.0	12.4	80.6%	10.0	9.0
	指標説明	４０歳から７５歳未満の国民健康保険加入者の内、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合							
③							#DIV/0!		
	指標説明								

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	9,431	10,189	11,752	7,968
人件費	37,520	37,520	36,720	36,720
合計コスト	46,951	47,709	48,472	44,688

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

住み慣れた地域で、心身ともに健康で暮らせる「健康寿命」の延伸のため、市民一人ひとりが健康的な生活習慣の重要性を認識し、関心と理解を深めていただくため、栄養改善事業、健康づくり講演会等の健康づくり推進事業、地域の健康づくりを支援する体制の強化として、保健委員活動に対する支援等を行い、市民個々の健康意識の向上に寄与することができた。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	保健委員は地区推薦を受けており、健康意識向上のため、地区をあげての事業実施ができる体制である。
岡谷市の弱み	保健委員、食生活改善推進委員等、ボランティアの高齢化や女性の社会進出等により組織の弱体化がみられる。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	年々健康に対する関心が高まっており、運動や食事への意識も変化してきている
不利に働くもの	・保健委員、食生活改善推進委員等の担い手不足により、地域での保健活動に支障が生じる。 ・高齢化の進行

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

６ 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	平成３０年度から第３次岡谷市健康増進計画がスタートする。 健康は守るものからつくるものへの発想の転換を図り、健康を増進し疾病の発生を予防するためには、個々の生活習慣の改善が必要である。そのための意識改革を図るため、各種講演会やイベントなどの機会を捉えて意識啓発に努めるとともに、保健指導や栄養指導を重点的に取り組む必要がある。
見直しを行う分野	

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	26年度	26年度	26年度			
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		公共施設	なし	保健センター管理事業	施設稼働率	%	100.0	1,359	1,280	高い	継続して実施	B：現状維持
							100.0	1,509	1,280			
							100.0	4,079	1,280			
							-	1,450	1,280			
2		一般	あり	栄養改善事業	事業参加者数	人	1,655	574	17,360	高い	継続して実施	B：現状維持
							2,031	620	17,360			
							1,965	561	17,360			
							1,965	536	17,360			
3		一般	その他	保健委員会活動支援事業	保健委員会参加者数	人	2,296	4,870	6,400	高い	継続して実施	B：現状維持
							2,433	4,876	6,400			
							2,333	4,832	5,600			
							2,354	4,857	5,600			
4		一般	あり	健康づくり推進事業	事業参加者数	人	4,092	2,628	12,480	高い	継続して実施	B：現状維持
							4,070	3,184	12,480			
							2,755	2,280	12,480			
							3,639	1,125	12,480			
5												
6												
7												
8												
9												
10												